

学科 学年	M4・E4	科目 分類	ドイツ語 I A German I A	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 C	担当	杉山 和子 SUGIYAMA Kazuko
概要	ドイツ語は、英語と同じゲルマン語の文字体系・文法構造を持ちながらも、英語よりも古い形で規則を多数残している。そのため英語を学習する学生にとっては習得が比較的容易でありながら、より多面的な視野で外国語を理解する発端と成り得る。コミュニケーションの手段としてのドイツ語を習得しながら、外国語を学ぶことのポイントが、単に文法、語彙にあるのではなく、異文化に生きる人間の思考方法の違いにあることを感じてほしい。							
科目目標 (到達目標)	ドイツ語の基本的な文法の習得。前期は会話・聞き取りを中心に、自己紹介程度の簡単なドイツ語を聞き取り、話すことを目指す。後期は徐々に読解に比重を移し、ドイツ語技能検定4級合格に要求される程度の文法、ドイツ文への習熟を目標とする。							
教科書 器材等	<ul style="list-style-type: none"> ・関口一郎編著：ハロー・ミュンヘン（白水社） ・ビデオ教材、ドイツ国内のテレビニュース（ZDF）、映画、オペラ等を適宜利用する 							
評価の基準と 方法	試験（定期試験）の平均成績を80%、授業参加（授業中の課題、独作など）を20%とし、60点以上を合格とする。							
関連科目	英語							
授業計画								
第1回	ドイツ・ドイツ語概観、アルファベット							
第2回	発音の規則							
第3～7回	Lektion 1: Guten Tag, in München 文法事項（疑問詞、動詞の現在人称変化、接続詞、数詞など） ドイツ語で簡単な自己紹介ができるようにする。							
第8回	前期中間試験							
第9～11回	Lektion 2: Klaudia geht in die Stadt 文法事項（名詞の性と冠詞、否定冠詞、所有冠詞、habenの現在人称変化など） 友人、家族を紹介できるようにする。							
第12～14回	Lektion 3: Eine Wohngemeinschaft 文法事項（不規則動詞の現在人称変化、命令形、名詞の複数形など） 身の回りのことをドイツ語で表現する。 ドイツの社会事情、ドイツ現代文学などをフィルム、資料などで紹介する。							
第15回	前期末試験							
第16回	ナチズム・冷戦・ベルリンの壁崩壊・ドイツ統一について							
第17～19回	Lektion 4: Eine Reise nach Salzburg 文法事項（分離動詞、不規則動詞の現在人称変化、時刻の言い方など） 自分の住まい、住んでいる町などをドイツ語で表現する ドイツの周辺の国との関係について紹介。モーツァルトのオペラ紹介。							
第20～22回	Lektion 5: Ein Tag von Michael 文法事項（前置詞、冠詞、人称代名詞の格変化など） 比較的難しいドイツ文の読解に慣れる。学校生活をドイツ語で表現する。							
第23回	後期中間試験							
第24～26回	Lektion 6: Im Olympiapark 文法事項（話法の助動詞） 細かい感情表現を伴う文章を学ぶ。ドイツ映画鑑賞。							
第27～29回	Lektion 7～Lektion 1 2 文法事項概観（現在完了、副文、比較級、接続法など）							
第30回	学年末試験							
オフィス アワー	連絡により、火曜日、水曜日、木曜日に非常勤室にて質問等を受け付ける。							
備考	質問および連絡は右のメールアドレスまで。Deutschlsugiyama@aol.com							

